市制施行72周年・文化の日記念式典を開催しました

11月3日、「市制施行72周年・文化の日記念式典」が「みらい」文化ホールで開催されました。今年の式典では、36人、14団体が表彰され、石井市長から表彰状と記念品が手渡されました。

ここでは、表彰を受けた皆さんを紹介します。

表彰状の贈呈（順不同・敬称略）

行政委員会委員として永年勤続された方
元選挙管理委員会委員　長谷川有子

附属機関の委員等として永年勤続された方
環境審議会委員　新井　智
民生委員推薦会委員　松村　二郎
同　小堀　隆
介護認定審査会委員　加部　愛子
同和対策集会所運営委員会委員　大塚喜久子
同　松田　重俊
郷土博物館協議会会長　若松　良一

市政の振興に貢献された方および団体
元自治会長　横田　武司
自治会長　吉田　憲昭
自治会　二北谷親交会
同　三内自治会
同　一本町自治会
同　三桜南部自治会
同　桜ヶ丘自治会
同　須加第二区自治会
同　須加第八区自治会
自治会　片原第二自治会
同　野谷端自治会
同　野原自治会
統計調査員　齋藤ヨシエ
同　五十幡啓佳
同　中村ツネ子
同　伊藤　勉
同　水野　保雄
同　磯貝　睦明
同　荒木　修逸
同　荒木みどり
同　後藤　房子
同　山口惠美子
同　髙澤　綾子
同　新井　正子
同　小川　幸子
同　岡安　真代

保健衛生の改善向上に貢献された方
元地区衛生協力会会長　横田　武司
同　田島　正雄
地区衛生協力会会長　髙澤　克芳
同　小島　敏夫

社会福祉の増進に貢献された方
老人クラブ会長　白根　慎一
同　小暮　福三
同　村田　邦博
人権擁護委員　永野　修之
同　長嶋　道枝

教育・文化および体育の向上に貢献された方
埼玉県北部郡市テニス協議会会長　朝見　康夫
南河原地区体育協会会長　今村　正次
行田市体育協会副理事長　川上　新一

公益のため多額の金品を寄附された団体
株式会社コスメグローバル

感謝状の贈呈（順不同・敬称略）

公益のため金品を寄附された団体
NPO法人　care nation
株式会社ファミリー・ライフ
株式会社マクロミル

▼**問い合わせ**　総務課総務法規担当（内線216・217）

秋の叙勲

このほど、秋の叙勲の受章者が発表され、行田市からは岩田善道氏と川口冨美子氏が瑞宝単光章を受章されました。また、危険業務従事者として齋藤久夫氏と本望基氏が瑞宝双光章に、塩田義英氏と林孝行氏が瑞宝単光章に輝きました。

瑞宝単光章

岩田　善道 氏
（72歳・皿尾）
元行田市消防団長

瑞宝単光章

川口　冨美子 氏
（74歳・門井町）
元工業統計調査員

危険業務従事者

瑞宝双光章

齋藤　久夫 氏
（72歳・棚田町）
元県警部

瑞宝双光章

本望　基 氏
（72歳・棚田町）
元県警視

瑞宝単光章

塩田　義英 氏
（72歳・清水町）
元県警部補

瑞宝単光章

林　孝行 氏
（74歳・門井町）
元秩父広域市町村圏組合
消防指令

新ごみ処理施設整備に関する市民説明会を開催しました

11月13日、「みらい」文化ホールで「新ごみ処理施設整備に関する市民説明会」を開催し、56人が来場しました。

今回の説明会では、羽生市と共に進めている新ごみ処理施設整備事業の「進ちょく状況」や「今後の見通し」について説明し、参加者から多数のご意見・ご質問をいただきました。

参加者からいただいたご意見・ご質問（抜粋）

Q 1. 剪定枝（せんていし）堆肥化施設を整備するのではなく、民間企業にチップ化を委託するべきではないか。
A 1. チップ化された剪定枝の大部分は燃料として焼却されています。堆肥化とチップ化を比較検討し、最終的に土に還る堆肥化施設を整備することとしたものです。

Q 2. プラスチックごみは、焼却するのではなく、リサイクルするべきではないか。
A 2. 家庭から出たプラスチックごみは、現在、マテリアルリサイクル（材料リサイクル）の処理技術や仕組みが十分に整っていません。そのため、暫定的に焼却処理し、サーマルリサイクル（熱エネルギー回収）で対応することとしたものです。

Q 3. 生ごみは資源化するべきではないか。
A 3. 資源化施設を整備する予定はありませんが、ごみの減量化を推進するため、本年度から生ごみ処理機器の購入費補助制度を開始しています。

Q 4. 新施設稼働後は搬入車両の増加が見込まれるが、周辺の交通安全対策が必要ではないか。
A 4. 今後、地元の意見を伺いながら、羽生市と十分な協議を行います。

説明会の開催結果や事業の進ちょく状況は、市ホームページをご覧ください。

▶**問い合わせ**　環境課新ごみ処理施設建設準備グループ（内線384）